



酒向 弘康 議員

問 万全か 町の情報セキュリティ

答 点検体制づくりに努めている



万全な管理が望まれる個人情報

行政は重要度の高い情報が取り扱われている。以下を問う。

問 庁舎内、学校、保育園で、業務や通信を何人が何台の端末を使用しているか。

答 **総務部長** 職員が318人で406台。学校は非常勤含め265人で255台が稼働。

問 個人情報保護の認識とコンプライアンス※意識向上のための職員研修は。

答 職員のモラル研修、個人情報保護、情報セキュリティ研修を実施。

教育部長 小中学校コンピュータなど管理運営要綱、個人情報の保護管理ガイドを使い学習会を実施。

問 過去、学校の個人情報紛失した2事件の教訓と再発防止策は。

答 **教育長** 個人情報を扱う自覚と、仕事は学校内で済ませるように、校長が指導している。

問 コンピュータウイルスやサイバー攻撃などに対する対策とチェック・監査の体制と評価は。

答 **総務部長** 毎年あいち電子自治体推進協議会に

委託。診断の評価は良好である。

問 「情報セキュリティ基本方針」の策定状況と体制は万全か。

答 平成15年に策定し、改定しながら日常点検体制づくりに努めている。

※コンプライアンスとは法律や条例を遵守すること。

問 エコの町として循環型社会形成を 答 新年度計画をつくりすすめる

問 「野焼き」の苦情も同時解消される、剪定枝や畑の残渣を回収し、堆肥化する考えは。

答 チップ化はシルバー人材センターに委託しているが、一層検討していく。野焼きは広域の協議の場でも意見を聞いて対策を考えたい。

問 家庭から出るテンプラ油も回収し、BDF※化をすすめる考えは。

答 実施拡大を前向きに検討する。

問 町の花「つばき」の実からは、良質な油が採れる。町のPR、住民の意識高揚のため、花と実の利活用を。

答 別の方法でPR資源として利活用する。

問 エコの町として、一歩先を行く、循環型社会への取り組み強化の考えは。

答 **町長** 新年度計画をつくり、できることからすすめていく。

問 一人当たりのごみ排出量の推移と見込み。
答 **環境経済部長** 平成19年度日784g、21年度721g、22年度711gである。区画整理事業がすすむとごみ量は増加する。

※BDFとはバイオディーゼル燃料の略で、ディーゼルエンジン用燃料のひとつ。